

松戸市食品ロス削減推進についての報告書

(令和3年度版)

松戸市食品ロス削減推進施策の実績（令和3年度）

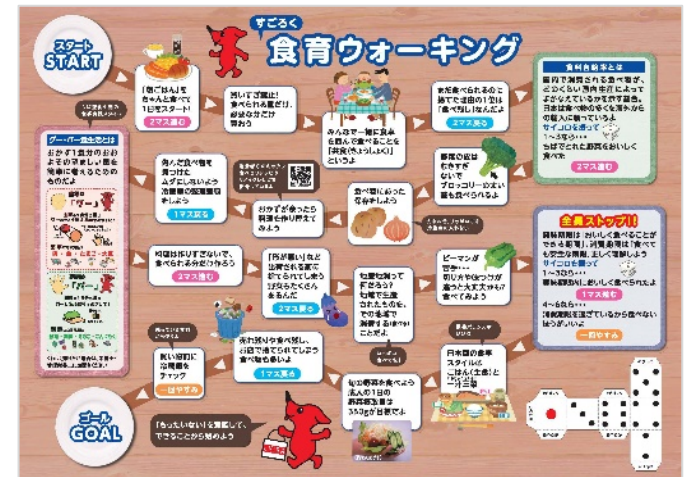
健康福祉政策課（食育を通じた啓発）

事業名称	食育月間における啓発
事業内容	食育月間（国：6月・県：11月）に食育に関する展示を行い、食品ロス削減等に関する啓発資料を配布。
実績	6月第2週と11月第1週に、市役所連絡通路にて展示を実施。千葉県が作成した啓発資料を配布。

展示の様子

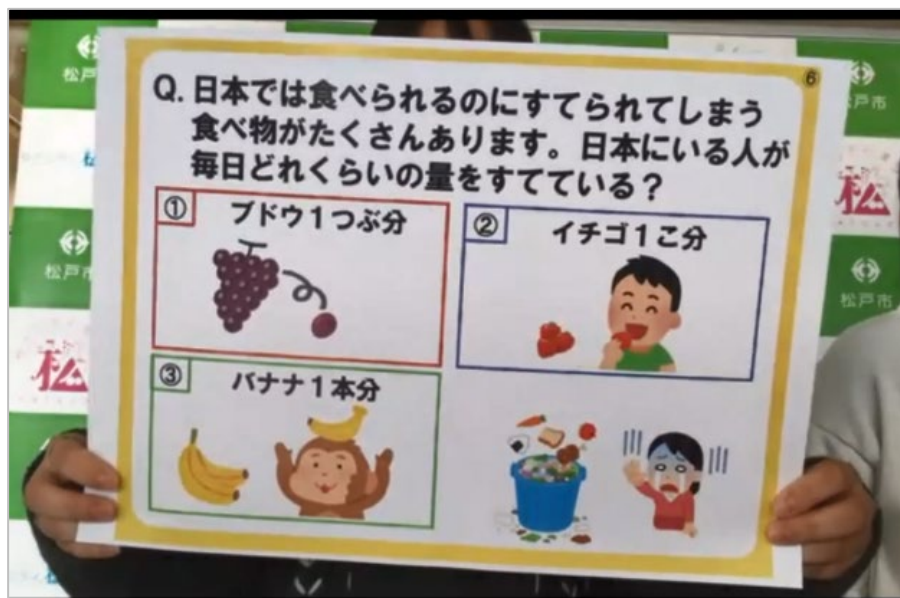


配布資料



健康福祉政策課（食育を通じた啓発）

事業名称	松戸食育まつりオンライン
事業内容	市内在住の小学生と保護者を対象とした食育に関するイベントをオンラインで開催。 イベントの1つとして食育クイズを実施し、食品ロスに関する問題を出題。正解発表の後に解説も行った。
実績	開催日：令和3年11月27日（土） 参加者：市内在住の小学生と保護者12組



（食育クイズ出題の様子と解説フリップ）

（解説）
食べられるのに捨てられてしまう食べ物
食品ロス

日本では1年間に **612万トン** → 東京ドーム **5個分**とほぼ同じ

日本に住む人全員が 毎日バナナ1本分を捨てている計算

（解説）食品ロス

○食品ロスをへらすためにできること

- ・買い物は計画的に、必要なものだけ
- ・食べきれぬ量を料理、注文する
- ・おやつを食べすぎない
- ・好き嫌いをなくす など

何よりも…
食卓に届けてくれた人たちへの
感謝の気持ちを忘れずに

学校財務課（学校給食を通じた啓発）

事業名称	学校での啓発
事業内容	学校給食を通じた啓発
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市内5校（小学校4校・中学校1校）において、給食だよりを通じて保護者へ啓発 ・小学校14校において、食品ロスについて授業を実施

給食だより（小学校）



給食だより（中学校）



授業を通じた啓発



給食だよりに食べものの大切さや、環境への影響、食品ロスを減らす方法等を記載し配付しました。

小学校の家庭科と学級活動の授業で、好き嫌いせずに食べることが健康につながり、給食を食べ残さないように伝えました。授業実践後は、残菜が減り、児童が残さず給食を食べようとする姿が多くみられました。

環境業務課（食品ロスとして廃棄された生ごみのリサイクル）

事業名称	生ごみ処理容器等購入費補助金制度
事業内容	生ごみ処理容器等を購入し、かつ設置した者に対し補助金を交付する。
実績	基数 220 基 補助金額 2,053,500 円 (コンポスト 42 基、EM 容器等 25 基、電気式 153 基)

生ごみ処理容器等購入費補助金制度

更新日：2021年3月31日

対象者

次の要件に該当する方で、容器等を購入し、設置した方が対象になります。

1. 市内に住民登録があり、実際に居住している世帯主の方
2. 堆肥化及び減量化された生ごみを自己の責任において処理できる方
3. 市税の滞納がない方
4. 松戸市暴力団排除条例（平成24年松戸市条例第2号）第2条第3号に規定する暴力団員等でない方

補助金額及び基数

1.コンポスト容器

購入価格の2分の1相当額（100円未満切捨て）。6,000円が限度で1年度中2基まで補助対象

2.EM菌等使用容器

購入価格の2分の1相当額（100円未満切捨て）。6,000円が限度で1年度中2基まで補助対象

3.電気式生ごみ処理機

購入価格の3分の1相当額（100円未満切捨て）。20,000円が限度で1年度中1基まで補助対象

市 HP より

コンポスト容器
設置型（屋外）



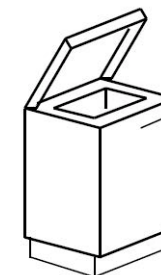
コンポスト容器
バッグ型（屋内可）



EM 菌等使用容器



電気式生ごみ処理機



廃棄物対策課（ごみ減量を通じた啓発）

事業名称	環境・ごみに関するパネル展示
事業内容	環境月間に市庁舎で実施されたパネル展にて、食品ロスの削減についても啓発する。
実績	開催期間 令和3年6月7日～6月30日

展示の様子



環境政策課と合同で実施した環境月間のパネル展にて雑がみの分別推進、無許可回収業者を利用しない等の啓発とともに、食品ロスの削減について啓発

廃棄物対策課（ごみ減量を通じた啓発）

事業名称	啓発マグネットの作製・配布
事業内容	食品ロス削減のポイントとして知られる冷蔵庫確認を推進するため、冷蔵庫貼付用マグネットシールを作成し配布する。
実績	作成・配布枚数 29,000 枚 ※配布時期：令和4年6月頃

マグネットシール デザイン



市役所内関係部署窓口、各支所、市民センター
 市内のスーパー・ドラッグストア等のクリンクル協力店（一部）
 での配布を予定

廃棄物対策課（ごみ減量を通じた啓発）

事業名称	クリンクルキャラバン（ごみに関する市民説明会）
事業内容	市内各所にてごみに関する市民説明会を開催し、その中で食品ロスの削減についても啓発する。
実績	開催回数 22回 参加者数延べ470人

市民説明会の様子



ごみ減量のポイントのひとつとして
食品ロス削減を啓発
説明会資料の食品ロスに関する頁

最後に・・・松戸市からのお願い

引き続きごみの分別と減量にご協力ください

- 「リサイクルするプラスチック」や、「資源ごみ」の「雑がみ」の適切な分別を行う。
※雑がみ・・・新聞、雑誌、段ボール、飲料用紙パック以外のリサイクルできる雑多な紙。
※雑がみを紙袋で出す場合、紙袋には「ざつがみ」と書き、ひもで縛るかテープ等で一か所のみを止めてください。
- 消費期限切れや食べ残し、食品の買いすぎ等による「食品ロス」を減らす。
- 生ごみの水切りを徹底する。

その他 松戸市からのお願い

- 「リチウムイオン電池が取り外せない電子機器」は「不燃ごみ」の日に
出してください。
※取り外し可能な小型充電式電池、ボタン電池等はお近くの協力店へ。
- 「リサイクルするプラスチック」のごみ袋は二重にしないでください。
- 庭や空き地などでごみや草木を燃やす「野焼き」は、法令で定められた
場合を除いて禁止されています。



廃棄物対策課（ごみ減量を通じた啓発）

事業名称	広報媒体での啓発活動
事業内容	市 HP、Twitter 等での啓発
実績	・市ホームページにおいて、食品ロスの現状や市の取り組みについて周知した。
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; padding: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">市 HP より</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 60%; text-align: center;"> <h3>食品ロスを減らしましょう</h3> <p style="font-size: small; color: gray;">更新日：2021年9月30日</p> <h4>令和3年度食品ロス削減月間について</h4> <p>10月は「食品ロス削減月間」、10月30日は「食品ロス削減の日」です。 買い物の前に冷蔵庫等の食材の在庫を確認するなど、みなさまの「ちょっとした心がけ」で食品ロスが減らせます。 ご協力をお願いいたします。</p>  <p style="font-size: x-small; color: blue;"> 令和3年度食品ロス削減月間ポスター（PDF：3,358KB） 食品ロス削減月間の国の主な取り組み </p> <h4>「食品ロス」とは</h4> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="width: 45%;">  <p>日本の食品ロスの現状（平成30年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の「食品ロス」約600万トン 家庭系 約347万トン 事業系 約275万トン <p>国民1人当たり年間約47kg</p> <p>1日約130g</p> <p>※お茶碗約1杯分（約130グラム）の食べ物が毎日捨てられていることになります。</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>食品ロスとは、まだ食べられるのに廃棄される食品のことです。</p> <p>日本では家庭系の食品ロスが約276万トン、事業系（食品関連事業者）の食品ロスが約324万トン、合計で年間600万トン以上の食品ロスが発生しているといわれており、国民1人当たり換算すると、お茶碗約1杯分（約130グラム）の食べ物が毎日捨てられていることになります。</p> <p>家庭から発生する食品ロスの主な要因には「過剰除去」「食べ残し」「直接廃棄」の3つがあります。</p> </div> </div> </div> <h4>松戸市の食品ロスの現状</h4> <p>家庭から出る燃やせるごみの組成分析（平成28年度から令和元年度の平均）によると、約4.6%が手つかず食品（直接廃棄）でした。 家庭系燃やせるごみ約62,889トン（令和元年度実績）のうち、約2,893トンの食べ物が手つかずのまま捨てられていたと推計されます。</p> </div>	